

(仮) 飯山ぷらざ』建設事業

I. 経過説明 (平成 24 年 2 月～6 月)

年月日	事項
H24.2.10	設計監理業者プロポーザル 第1次審査 代表企業枠応募 17 者から 6 者を選定 市内企業枠応募 2 者の書類審査 JV 候補者に認定
3.13	設計監理業者プロポーザル 第2次審査 公開プレゼン・ヒヤリング実施 最優秀者：(株)隈研吾建築都市設計事務所 優秀者：(株)梓設計、審査委員長賞：(株)ヘルム
3.23	(株)隈研吾建築都市設計事務所・仲條一級建築士事務所 設計・監理共同企業体結成
3.30	『(仮)飯山ぷらざ』建設設計及び監理業務契約 契約額 95,550(千円) 履行期間 H24.4.1～27.8.31
4.11	第1回定例設計会議 (設計条件整理)
4.18	飯山市芸術文化協会との懇談会 (1 回目)
4.27	第2回定例設計会議&「アオーレ長岡」視察 (ホール形態・全体レイアウト検討)
5.10	十日町市「千年の森ホール」視察 (可動席を調査)
5.18	第3回定例設計会議 (ホール検討・諸室・間取りの検討)
5.25	劇場用可動式座席の構造について調査 (東京都)
6. 1	第4回定例設計会議 (動線計画、配置プラン、建築ボリューム検討)
6. 4	飯山市芸術文化協会との懇談会 (2 回目)
6. 8	飯山市芸術文化協会との懇談会 (3 回目)
6.22	第5回定例設計会議 (予定) 第8回『(仮)飯山ぷらざ』建設検討委員会 (予定)

II. 設計監理体制

(株)隈研吾建築都市設計事務所・仲條一級建築士事務所設計・監理共同企業体

業務内容：『(仮) 飯山ぷらざ』基本設計・実施設計・工事監理業務および現市民会館解体実施設計・工事監理業務

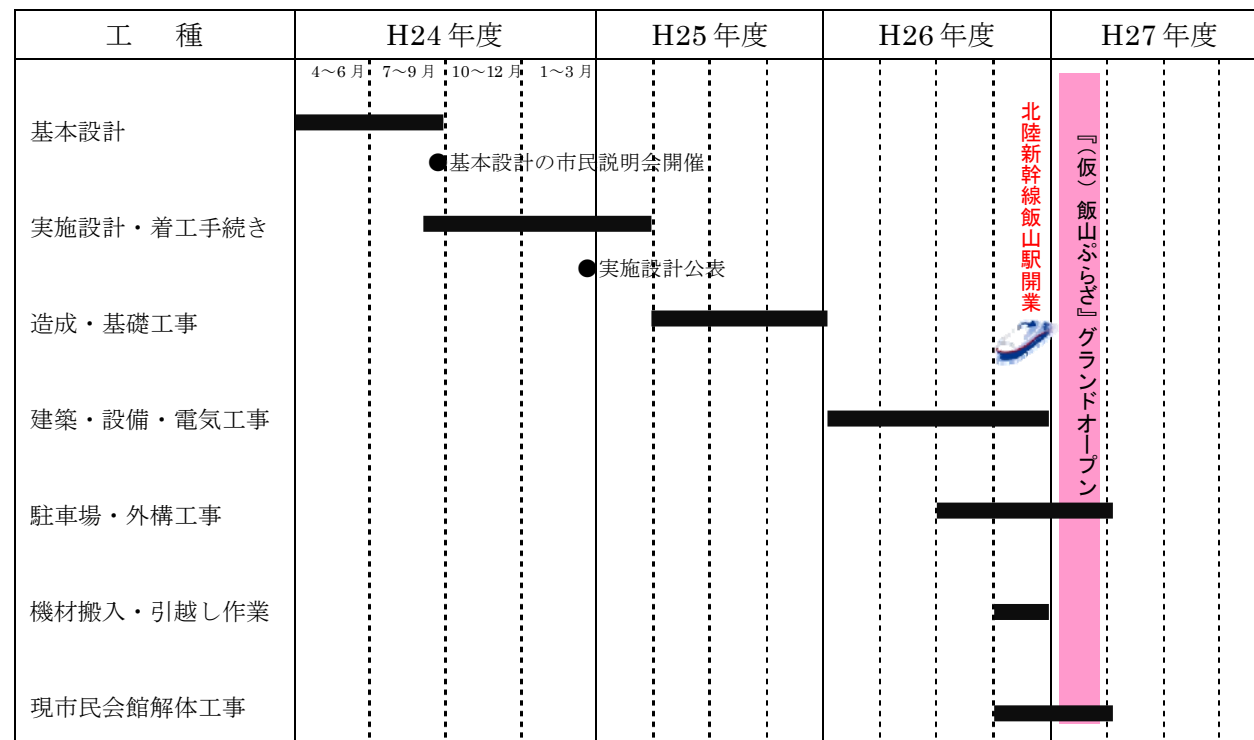


くま けんご
隈 研吾 氏

1954 年神奈川県生まれ。建築家、東京大学工学部教授。東京大学大学院修了。建設会社勤務を経て、コロンビア大学に留学。86 年空間研究所設立。90 年限研吾建築都市設計事務所設立。登米の「森舞台/登米町伝統芸能伝承館」は 97 年日本建築学会賞受賞、「那珂川町馬頭ひろしげ ひらのとうご 柳原 木橋 ミュージアム」は村野藤吾賞受賞。11 年「梶原 木橋 ミュージアム」で芸術選奨文部科学大臣賞 (美術部門) 他受賞多数。最近では 12 年「アオーレ長岡」を手掛けた。

III. 建設スケジュール

北陸新幹線飯山駅開業にあわせて H27 年度春のオープンを目指します。



IV. 建設位置

北陸新幹線飯山駅の駅西地区に建設いたします。(敷地面積約 10,000 m²)



『大ホール』のイメージ (可動席により多様なニーズに対応)



■劇場型式 (座席を張り出した状態)
※演奏会・講演会・演劇・発表会などが可能となります。

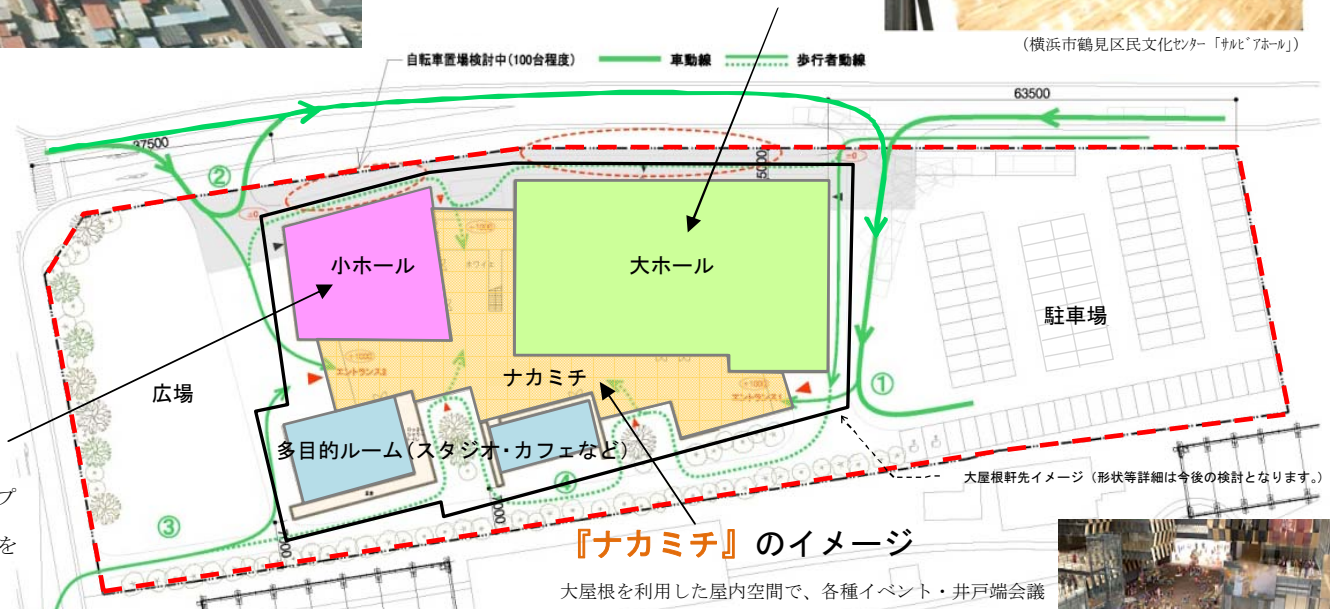


■平土間型式 (座席を収納した状態)
※展示会・フィットネス教室など多様な屋内イベントが可能となります。

(横浜市鶴見区民文化センター「サルビアホール」)

V. 平面プラン (検討段階)

- 大ホール (可動式座席を採用し平土間にもなるホールを検討中)
- 小ホール (音響を重視したホールを検討中)
- 多目的ルーム (多様な用途に対応できる部屋を検討中)
- 屋内広場『ナカミチ』(年間を通じて様々な活動ができる空間を検討中)
- 屋外広場 (イベント会場や憩いの場として活用できるよう検討中)
- 駐車場 (敷地北側へ配置します。)



『小ホール』のイメージ
質の高い音楽環境を整え、本格的なプログラムに対応し芸術文化の振興を図ります。



(大阪市立住吉区民センター「小ホール」)

『ナカミチ』のイメージ

大屋根を利用した屋内空間で、各種イベント・井戸端会議や子育てママ達の交流の場など市民が気軽に立ち寄り、フレキシブルな利用が可能なオープンスペースとなります。



(シブヤクプラザ「アオレ長岡」)

※上記のプランは6月時点のものであり今後の設計により変更もあり得ます。写真はあくまでもイメージであり実際とは異なります。